

令和 7年1月31日

横浜市立東希望が丘小学校 学校だより



東希小だより 2月号

「咲こう 輝こう マーガレットのように」

…… 挨拶の輪を広げるために ……

副校長 栗田 朋子

新年が明け、気付けば大寒に入り一年で最も寒さが厳しい時期です。しかし、今年は暖かい晴天の日が続いています。空気が乾燥し、インフルエンザの感染が全国に広がっています。去年の同じ時期よりも大きく増え、過去最高の勢いだそうです。手洗いうがいを励行し、睡眠をしっかりとって体調管理に努めたいものです。

さて、本校では運営委員会の児童が毎年1月「あいさつ運動」に取り組んでいます。今年度は1月15日から1月21日までの1週間。運営委員会の児童だけでなく、一緒に挨拶を呼びかける仲間と共に「あいさつ隊」として、登校してくる児童へ呼びかけていました。場所は正門、西門、昇降口や階段です。



5・6年生の「あいさつ隊」が元気に「おはようございます」と声を掛けると恥ずかしそうに「おはようございます」と返す児童。「あいさつ隊」より大きな声で挨拶をする児童。友達と声を合わせて挨拶をする児童。挨拶の仕方は様々。一人一人がこの「あいさつ運動」に参加している様子が、伝わってきました。「あいさつ隊」の挨拶を見ていたら、北風の冷たさは吹き飛び、微笑ましく、心温まる思いでいっぱいになりました。本校のこのような活動は、子ども達の挨拶への関心を深めるきっかけとなっています。

挨拶をすると私たちは元気になります。また、自分自身も相手もすっきりした気持ちになります。そして、笑顔が増えます。挨拶を交わすということは相手を認め、自分の心を開くということでもあります。自己肯定感を高めることにもつながります。また、挨拶は相手を尊重し、思いやりや感謝の気持ちを育みます。人と人をつなぐ大切な役割を果たしています。

児童に挨拶の習慣が身につき、さらに挨拶が広がっていくことを期待しています。児童に挨拶のすばらしさを説いたり、実践することを進めたりするだけではなかなか身につけにくいものです。そこで、教職員や地域の皆様、保護者の皆様と共に挨拶を交わしていくことが一層大事と考えます。児童は大人の背を見て育ちます。私たち東希望が丘小学校の教職員、地域、保護者の皆さんで、これからも挨拶の輪を一緒に広げていきましょう。